

新	旧	備 考
<p>第29類 有機化成品</p> <p>注</p> <p>1 この類には、文脈により別に解釈される場合を除くほか、次の物品のみを含む。</p> <p>(a), (b) (省略)</p> <p>(c) 第29.36 項から第29.39 項までの物品、第29.40 項の糖エーテル、糖アセタール及び糖エステル並びにこれらの塩並びに第29.41 項の物品（この(c)の物品については、化学的に単一であるかないかを問わない。）</p> <p>(d)~(h) (省略)</p> <p>2~7 (省略)</p> <p>8 第29.37 項において次の用語の意義は、それぞれ次に定めるところによる。</p> <p>(a) 「ホルモン」には、ホルモン放出因子又はホルモン刺激因子、ホルモン阻害剤及びホルモン拮抗剤（抗ホルモン）を含む。</p> <p>(b) 「主としてホルモンとして使用するもの」には、主としてそのホルモンとしての効果から使用されるホルモン誘導体及び構造類似物だけでなく、この項の物品を合成する際に主として中間体として使用されるホルモン誘導体及び構造類似物を含む。</p> <p>（省略）</p> <p>総説</p> <p>この類には、この類の注1に定めるものを除き、原則として、化学的に単一の化合物を分類する。</p> <p>(A), (B) (省略)</p> <p>(C) 化学的に単一の化合物ではないがこの類に含まれる物品 （省略）</p> <p>29.40 - 糖エーテル、糖アセタール及び糖エステル並びにこれらの塩 （省略） (D)~(G) (省略)</p>	<p>第29類 有機化成品</p> <p>注</p> <p>1 この類には、文脈により別に解釈される場合を除くほか、次の物品のみを含む。</p> <p>(a), (b) (省略)</p> <p>(c) 第29.36 項から第29.39 項までの物品、第29.40 項の糖エーテル及び糖エステル並びにこれらの塩並びに第29.41 項の物品（この(c)の物品については、化学的に単一であるかないかを問わない。）</p> <p>(d)~(h) (省略)</p> <p>2~7 (新設)</p> <p>（省略）</p> <p>総説</p> <p>この類には、この類の注1に定めるものを除き、原則として、化学的に単一の化合物を分類する。</p> <p>(A), (B) (省略)</p> <p>(C) 化学的に単一の化合物ではないがこの類に含まれる物品 （省略）</p> <p>29.40 - 糖エーテル、糖アセタール及びこれらの塩 （省略） (D)~(G) (省略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.03 炭化水素のハロゲン化誘導体 - 非環式炭化水素の塩素化誘導体（飽和のものに限る。） (省 略) (削 除) (省 略)</p> <p>ハロゲン化誘導体は、炭化水素の構造式において、その水素原子1個以上を同数のハロゲン原子（ふつ素、塩素、臭素及びよう素）で置換することによつて得られる化合物である。</p> <p>(A) (省 略) (B) 非環式炭化水素の塩素化誘導体（不飽和のものに限る。） (1) 塩化ビニル（クロロエチレン）：クロロホルム臭を有する気体で、鉄鋼製容器中に液状で提示される。39.04 項のポリ（塩化ビニル）の製造に使用する。 (2)~(4) (省 略) (C) (省 略) (D) 非環式炭化水素のハロゲン化誘導体（二以上の異なるハロゲン原子を有するものに限る。） トリクロロフルオロメタン、ジクロロジフルオロメタン、トリクロロトリフルオロエタン、ジクロロテトラフルオロエタン、クロロペンタフルオロエタン、プロモクロロジフルオロメタン、プロモトリフルオロメタン及びジプロモテトラフルオロエタンの取引はオゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書によつて規制されている。 この項には、38.13 項の消火器の装てん物にし、又は消火弾にした消火剤は含まない。 (E)~(F) (省 略)</p>	<p>29.03 炭化水素のハロゲン化誘導体 - 非環式炭化水素の塩素化誘導体（飽和のものに限る。） (省 略)</p> <p><u>2903.16 - - 1, 2 - ジクロロプロパン（二塩化プロピレン）及びジクロロブタン</u> (省 略)</p> <p>ハロゲン化誘導体は、炭化水素の構造式において、その水素原子1個以上を同数のハロゲン原子（ふつ素、塩素、臭素及びよう素）で置換することによつて得られる化合物である。</p> <p>(A) (省 略) (B) 非環式炭化水素の塩素化誘導体（不飽和のものに限る。） (1) 塩化ビニル（クロロエチレン）：クロロホルム臭を有する気体で、鉄鋼製容器中に液状で提示される。39.04 項のポリ塩化ビニルの製造に使用する。 (2)~(4) (省 略) (C) (省 略) (D) 非環式炭化水素のハロゲン化誘導体（二以上の異なるハロゲン原子を有するものに限る。） トリクロロフルオロメタン、ジクロロジフルオロメタン、トリクロロトリフルオロエタン、ジクロロテトラフルオロエタン、クロロペンタフルオロエタン、プロモクロロジフルオロメタン、プロモトリフルオロメタン及びジプロモテトラフルオロエタンの取引はオゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書によつて規制されている。</p> <p>(E)~(F) (省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.05 非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省 略) <u>- 非環式アルコールのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体</u> <u>2905.51 - - エトクロルビノール (INN)</u> <u>2905.59 - - その他のもの</u> (省 略)</p>	<p>29.05 非環式アルコール並びにそのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省 略) <u>2905.50 - 非環式アルコールのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体</u> (省 略)</p>	
<p>29.07 フェノール及びフェノールアルコール (省 略) <u>- 多価フェノール及びフェノールアルコール</u> (省 略) (削 除) (省 略) <u>水素原子1個の置換によって一価フェノール (モノフェノール) が得られ、水素原子2個以上の置換によって多価フェノール (ポリフェノール) が得られる。</u> (省 略) (A)~(D) (省 略)</p>	<p>29.07 フェノール及びフェノールアルコール (省 略) <u>- 多価フェノール</u> (省 略) <u>2907.30 - フェノールアルコール</u> (省 略) <u>水素原子1個の個数の置換によって一価フェノール (モノフェノール)、水素原子2個の置換によって二価フェノール (ジフェノール) が得られ、水素原子数個の置換によって多価フェノール (ポリフェノール) が得られる。</u> (省 略) (A)~(D) (省 略)</p>	
<p>29.14 ケトン及びキノン (他の酸素官能基を有するか有しないかを問わない。) 並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省 略) <u>- 芳香族ケトン (他の酸素官能基を有しないものに限る。)</u> <u>2914.31 - - フェニルアセトン (フェニルプロパン-2-オン)</u> (省 略)</p>	<p>29.14 ケトン及びキノン (他の酸素官能基を有するか有しないかを問わない。) 並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省 略) <u>- 芳香族ケトン (他の酸素官能基を有しないものに限る。)</u> <u>2914.31 - - フェニルアセトン (1-フェニルプロパン-2-オン)</u> (省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.15 飽和非環式モノカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省略)</p> <p><u>2915.60 - ブタン酸及びペンタン酸並びにこれらの塩及びエステル</u> (省略)</p> <p>この項には、<u>飽和非環式</u>モノカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸、エステル並びに塩及びこれらの化合物のハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体（複合誘導体を含む。）を含む。</p> <p>() (省略)</p> <p>() 酢酸（$\text{CH}_3 \cdot \text{COOH}$）とその塩及びエステル</p> <p>(a), (b) (省略)</p> <p>(c) 酢酸の主なエステルには次の物品がある。</p> <p>(1), (2) (省略)</p> <p>(3) 酢酸ビニル（$\text{CH}_3 \cdot \text{COO} \cdot \text{CH} = \text{CH}_2$）：特有の臭気がある無色の液体で、単量体は<u>ポリ（酢酸ビニル）（39.05 項の重合体）</u>の製造に使用する。 (省略)</p> <p>(4)~(10) (省略)</p> <p>(), () (省略)</p> <p><u>() ブタン酸並びにその塩及びエステル</u></p> <p>(a) 酢酸（ブタン酸）：無色の密度の大きい油状液体で、不快な酸敗臭を有する。皮の脱灰剤として使用する。</p> <p>(b) イソ酢酸（2-メチルプロパン酸）</p> <p><u>() ペンタン酸並びにその塩及びエステル</u></p> <p>(a) 吉草酸（ペンタン酸）：無色透明の油状液体で、不快な酸敗臭を有する。</p> <p>(b) イソ吉草酸（3-メチルブタン酸）</p> <p>(c) ピバル酸（2,2-ジメチルプロパン酸）</p> <p>(d) 2-メチルブタン酸</p> <p>()~() (省略)</p> <p>(省略)</p>	<p>29.15 飽和非環式モノカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省略)</p> <p><u>2915.60 - 酢酸及び吉草酸並びにこれらの塩及びエステル</u> (省略)</p> <p>この項には、<u>非環式</u>モノカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸、エステル並びに塩及びこれらの化合物のハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体（複合誘導体を含む。）を含む。</p> <p>() (省略)</p> <p>() 酢酸（$\text{CH}_3 \cdot \text{COOH}$）とその塩及びエステル</p> <p>(a), (b) (省略)</p> <p>(c) 酢酸の主なエステルには次の物品がある。</p> <p>(1), (2) (省略)</p> <p>(3) 酢酸ビニル（$\text{CH}_3 \cdot \text{COO} \cdot \text{CH} = \text{CH}_2$）：特有の臭気がある無色の液体で、単量体は<u>ポリ酢酸ビニル（39.05 項のプラスチック）</u>の製造に使用する。 (省略)</p> <p>(4)~(10) (省略)</p> <p>(), () (省略)</p> <p><u>() 酢酸並びにその塩及びエステル</u></p> <p>(a) ノルマル-酢酸：無色の密度の大きい油状液体で、不快な酸敗臭を有する。皮の脱灰剤として使用する。</p> <p>(b) イソ-酢酸</p> <p><u>() 吉草酸並びにその塩及びエステル</u></p> <p>(a) ノルマル-吉草酸：無色透明の油状液体で、不快な酸敗臭を有する。</p> <p>(b) イソ-吉草酸</p> <p>()~() (省略)</p> <p>(省略)</p>	

新	旧	備考
<p>29.17 ポリカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省略) (A) 非環式ポリカルボン酸並びにこれらのエステル、塩その他の誘導体 (1) しゅう酸 (HOOC・COOH) : 無色透明で無臭の細かい結晶で有毒である。織物や皮の漂白剤、織物工業における媒染剤及び有機合成に使用する。 主な塩には、しゅう酸アンモニウム、しゅう酸カリウム、しゅう酸ナトリウム、しゅう酸カルシウム、しゅう酸鉄及びしゅう酸鉄アンモニウムがある。 <u>主なエステルには、しゅう酸ジメチル及びしゅう酸ジエチルがある。</u> (2)~(8) (省略) (B), (C) (省略)</p>	<p>29.17 ポリカルボン酸並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 (省略) (A) 非環式ポリカルボン酸並びにこれらのエステル、塩その他の誘導体 (1) しゅう酸 (HOOC・COOH) : 無色透明で無臭の細かい結晶で有毒である。織物や皮の漂白剤、織物工業における媒染剤及び有機合成に使用する。 主な塩には、しゅう酸アンモニウム、しゅう酸カリウム、しゅう酸ナトリウム、しゅう酸カルシウム、しゅう酸鉄及びしゅう酸鉄アンモニウムがある。 (2)~(8) (省略) (B), (C) (省略)</p>	
<p>29.18 カルボン酸 (他の酸素官能基を有するものに限る。) 並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 - アルコール官能のカルボン酸 (他の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらの誘導体 (省略) (削除) (省略)</p>	<p>29.18 カルボン酸 (他の酸素官能基を有するものに限る。) 並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体 - アルコール官能のカルボン酸 (他の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにその酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらの誘導体 <u>2918.17 - - フェニルグリコール酸 (マンデル酸) 並びにその塩及びエステル</u> (省略)</p>	

新	旧	備 考
<p>第8節</p> <p><u>非金属の無機酸のエステル及びその塩並びにこれらのハロゲン化誘導体</u> <u>スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体</u></p> <p>総説</p> <p>(A) <u>非金属の無機酸のエステル</u></p> <p>無機酸のエステルは、通常、<u>非金属の無機酸</u>とアルコール又はフェノールの反応によって生じ、一般式 (R · O · X) (ここで、Rはアルコール又はフェノールに由来する基であり、Xは酸基として知られる無機酸分子の残基である。) を有する。</p> <p>(省 略)</p> <p>(B) <u>非金属の無機酸のエステルの塩</u></p> <p>これらは、<u>非金属の無機の多塩基酸</u> (硫酸、りん酸、けい酸等) のエステルからのみ得ることができる。多塩基酸は、2個以上の置換し得る酸性要素を有し、これらの一部がエステル化されると、酸エステルとなる。</p> <p>これらの酸エステルの適切な処理によって<u>非金属の無機酸のエステルの塩</u>が得られる。</p> <p>(省 略)</p>	<p>第8節</p> <p><u>無機酸のエステル及びその塩並びにこれらのハロゲン化誘導体</u> <u>スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体</u></p> <p>総説</p> <p>(A) <u>無機酸のエステル</u></p> <p>無機酸のエステルは、通常、<u>無機酸</u>とアルコール又はフェノールの反応によって生じ、一般式 (R · O · X) (ここで、Rはアルコール又はフェノールに由来する基であり、Xは酸基として知られる無機酸分子の残基である。) を有する。</p> <p>(省 略)</p> <p>(B) <u>無機酸のエステルの塩</u></p> <p>これらは、<u>無機の多塩基酸</u> (硫酸、りん酸、けい酸等) のエステルからのみ得ができる。多塩基酸は、2個以上の置換し得る酸性要素を有し、これらの一部がエステル化されると、酸エステルとなる。</p> <p>これらの酸エステルの適切な処理によって<u>無機酸エステルの塩</u>が得られる。</p> <p>(省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.20 <u>非金属のその他の無機酸のエステル(ハロゲン化水素酸エステルを除く。)及びその塩並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体</u> (省 略) <u>この項には、その他の非金属の無機酸(その陰イオンが非金属元素のみからなる酸)のエステルを含み、次の物品を含まない。</u> (省 略)</p>	<p>29.20 <u>その他の無機酸のエステル(ハロゲン化水素酸エステルを除く。)及びその塩並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体</u> (省 略) <u>この項には、その他の無機酸のエステル及びその塩を含み、次の物品を含まない。</u> (省 略)</p>	
<p>29.21 アミン官能化合物 (省 略) - 芳香族モノアミン及びその誘導体並びにこれらの塩 (省 略) <u>2921.46 - - アンフェタミン(INN)、ベンツフェタミン(INN)、デキサンフェタミン(INN)、エチランフェタミン(INN)、フェンカンファミン(INN)、レフェタミン(INN)、レバパンフェタミン(INN)、メフェノレクス(INN)及びフェンテルミン(INN)並びにこれらの塩</u> (省 略)</p>	<p>29.21 アミン官能化合物 (省 略) - 芳香族モノアミン及びその誘導体並びにこれらの塩 (省 略) (新 設) (省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.22 酸素官能のアミノ化合物 <u>- アミノアルコール (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにそのエーテル及びエステル並びにこれらの塩</u> (省 略)</p> <p>2922.14 - - デキストロプロポキシフェン (INN) 及びその塩 (省 略)</p> <p>- アミノナフトールその他のアミノフェノール (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにそのエーテル及びエステル並びにこれらの塩 (省 略)</p> <p>- アミノアルデヒド、アミノケトン及びアミノキノン (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにこれらの塩</p> <p>2922.31 - - アンフェプラモン (INN)、メサドン (INN) 及びノルメサドン (INN) 並びにこれらの塩</p> <p>2922.39 - - その他のもの - アミノ酸 (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 及びそのエステル並びにこれらの塩 (省 略)</p> <p>2922.44 - - チリジン (INN) 及びその塩 (省 略)</p> <p>(A) ~ (C) (省 略)</p> <p>(D) アミノ酸及びそのエステル並びにこれらの塩 (省 略)</p> <p>(1) ~ (10) (省 略)</p> <p>(11) アントラニル酸 (オルト - アミノ安息香酸) : 合成によつて得られる。合成インジゴの製造に使用する。この誘導体には、アントラニル酸メチルがある。</p> <p>(12) ~ (14) (省 略)</p> <p>(E) (省 略)</p>	<p>29.22 酸素官能のアミノ化合物 <u>- アミノアルコール並びにそのエーテル及びエステル (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにこれらの塩</u> (省 略) (新 設) (省 略)</p> <p>- アミノナフトールその他のアミノフェノール並びにそのエーテル及びエステル (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにこれらの塩 (省 略)</p> <p>2922.30 - アミノアルデヒド、アミノケトン及びアミノキノン (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにこれらの塩</p> <p>- アミノ酸及びそのエステル (二種類以上の酸素官能基を有するものを除く。) 並びにこれらの塩 (省 略)</p> <p>(A) ~ (C) (省 略)</p> <p>(D) アミノ酸及びそのエステル並びにこれらの塩 (省 略)</p> <p>(1) ~ (10) (省 略)</p> <p>(11) アントラニル酸 (オルト - アミノ安息香酸) : 合成によつて得られる。合成インジゴの製造及びメタカラソン (INN) 製造の前駆物質として使用する (29類の末尾の前駆物質のリストを参照)。 この誘導体には、アントラニル酸メチル及びアントラニル酸カドミウムがある。後者は豚の回虫駆除剤として使用する。</p> <p>(12) ~ (14) (省 略)</p> <p>(E) (省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.23 <u>第四級アンモニウム塩、水酸化第四級アンモニウム及びレシチンその他のホスホアミノリピド(レシチンその他のホスホアミノリピドについては、化学的に単一であるかないかを問わない。)</u> (省 略)</p>	<p>29.23 <u>第四級アンモニウム塩、水酸化第四級アンモニウム及びレシチンその他のホスホアミノリピド</u> (省 略)</p>	
<p>29.24 カルボキシアミド官能化合物及び炭酸のアミド官能化合物 - 非環式アミド(非環式カルバマートを含む。)及びその誘導体並びにこれら <u>の塩</u> <u>2924.11 - - メプロバメート(INN)</u> <u>2924.19 - - その他のもの</u> - 環式アミド(環式カルバマートを含む。)及びその誘導体並びにこれら の塩 (省 略) <u>2924.23 - - 2 - アセトアミド安息香酸(N-アセチルアントラニル酸)及びその 塩</u> <u>2924.24 - - エチナメート(INN)</u> (省 略)</p>	<p>29.24 カルボキシアミド官能化合物及び炭酸のアミド官能化合物 <u>2924.10 - 非環式アミド(非環式カルバマートを含む。)及びその誘導体並びにこれら の塩</u> - 環式アミド(環式カルバマートを含む。)及びその誘導体並びにこれら の塩 (省 略) <u>2924.22 - - 2 - アセトアミド安息香酸</u> (新 設) (省 略)</p>	
<p>29.25 カルボキシimid官能化合物(サッカリン及びその塩を含む。)及びイミン官能化合物 - イミド及びその誘導体並びにこれらの塩 (省 略) <u>2925.12 - - グルテチミド(INN)</u> (省 略)</p>	<p>29.25 カルボキシimid官能化合物(サッカリン及びその塩を含む。)及びイミン官能化合物 - イミド及びその誘導体並びにこれらの塩 (省 略) (新 設) (省 略)</p>	

	新	旧	備 考
29.26	<p>ニトリル官能化合物 (省略)</p> <p><u>2926.30 - フェンプロポレクス (INN) 及びその塩並びにメサドン (INN) 中間体 (4-シアノ-2-ジメチルアミノ-4,4-ジフェニルブタン)</u> (省略)</p>	<p>ニトリル官能化合物 (省略)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>(省略)</p>	
29.32	<p>複素環式化合物 (ヘテロ原子として酸素のみを有するものに限る。) (省略)</p> <p>- その他のもの (省略)</p> <p><u>2932.95 - - テトラヒドロカンナビノール (すべての異性体を含む。)</u> (省略)</p> <p>この項に含まれる複素環式化合物には、次の物品がある。</p> <p>(A), (B) (省略)</p> <p>(C) その他の複素環式化合物 (ヘテロ原子として酸素のみを有するものに限る。) これらには、次の物品を含む。</p> <p>(1)~(6) (省略)</p> <p><u>(7) テトラヒドロカンナビノール</u></p> <p><u>(8)</u> (省略)</p> <p><u>(9)</u> (省略)</p> <p><u>(10)</u> (省略)</p> <p><u>(11)</u> (省略)</p>	<p>複素環式化合物 (ヘテロ原子として酸素のみを有するものに限る。) (省略)</p> <p>- その他のもの (省略)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>(省略)</p> <p>この項に含まれる複素環式化合物には、次の物品がある。</p> <p>(A), (B) (省略)</p> <p>(C) その他の複素環式化合物 (ヘテロ原子として酸素のみを有するものに限る。) これらには、次の物品を含む。</p> <p>(1)~(6) (省略)</p> <p><u>(7)</u> (省略)</p> <p><u>(8)</u> (省略)</p> <p><u>(9)</u> (省略)</p> <p><u>(10)</u> (省略)</p> <p><u>(11)</u> (省略)</p>	

新	旧	備 考
<p>293.33 複素環式化合物（ヘテロ原子として窒素のみを有するものに限る。） (省略)</p> <p>- 非縮合ピリジン環（水素添加してあるかないかを問わない。）を有する化合物 (省略)</p> <p><u>2933.33 - - アルフェンタニル (INN)、アニレリジン (INN)、ベジトラミド (INN)、プロマゼパム (INN)、ジフェノキシン (INN)、ジフェノキシレート (INN)、ジビパノン (INN)、フェンタニール (INN)、ケトベミドン (INN)、メチルフェニデト (INN)、ベンタゾシン (INN)、ペチジン (INN)、ペチジン (INN) 中間体A、フェンシクリジン (INN) (PCP)、フェノベリジン (INN)、ピプラドロール (INN)、ピリトラミド (INN)、プロピラム (INN) 及びトリメペリジン (INN) 並びにこれらの塩</u> (省略)</p> <p>- キノリン環又はイソキノリン環（水素添加してあるかないかを問わないものとし、更に縮合したものを除く。）を有する化合物</p> <p><u>2933.41 - - レボルファノール (INN) 及びその塩</u></p> <p><u>2933.49 - - その他のもの</u></p> <p>- ピリミジン環（水素添加してあるかないかを問わない。）又はピペラジン環を有する化合物</p> <p><u>2933.52 - - マロニル尿素 (バルビツル酸) 及びその塩</u></p> <p><u>2933.53 - - アロバルビタール (INN)、アモバルビタール (INN)、バルビタール (INN)、ブタルビタール (INN)、ブトバルビタール、シクロバルビタール (INN)、メチルフェノバルビタール (INN)、ペントバルビタール (INN)、フェノバルビタール (INN)、セクブタバルビタール (INN)、セコバルビタール (INN) 及びビニルバルビタール (INN) 並びにこれらの塩</u></p> <p><u>2933.54 - - その他のマロニル尿素 (バルビツル酸) の誘導体及びその塩</u></p> <p><u>2933.55 - - ロプラゾラム (INN)、メクロカロン (INN)、メタカロン (INN) 及びジペプロール (INN) 並びにこれらの塩</u></p> <p>(省略) (次葉へ)</p>	<p>293.33 複素環式化合物（ヘテロ原子として窒素のみを有するものに限る。） (省略)</p> <p>- 非縮合ピリジン環（水素添加してあるかないかを問わない。）を有する化合物 (省略) (新設)</p> <p>(省略)</p> <p><u>2933.40 - キノリン環又はイソキノリン環（水素添加してあるかないかを問わないものとし、更に縮合したものを除く。）を有する化合物</u></p> <p>- ピリミジン環（水素添加してあるかないかを問わない。）又はピペラジン環を有する化合物</p> <p><u>2933.51 - - マロニル尿素 (バルビツル酸) 及びその誘導体並びにこれらの塩</u></p> <p>(新設)</p> <p>(省略) (次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.33 (前葉より)</p> <p>- ラクタム (省略)</p> <p><u>2933.72 - - クロバザム (INN) 及びメチブリロン (INN)</u> (省略)</p> <p><u>- その他のもの</u></p> <p><u>2933.91 - - アルプラゾラム (INN)、カマゼパム (INN)、クロルジアゼポキシド (INN)、クロナゼパム (INN)、クロラゼペート、デロラゼパム (INN)、ジアゼパム (INN)、エスタゾラム (INN)、ロフラゼブ酸エチル (INN)、フルジアゼパム (INN)、フルニトラゼパム (INN)、フルラゼパム (INN)、ハラゼパム (INN)、ロラゼパム (INN)、ロルメタゼパム (INN)、マジンドール (INN)、メダゼパム (INN)、ミダゾラム (INN)、ニメタゼパム (INN)、ニトラゼパム (INN)、ノルダゼパム (INN)、オキサゼパム (INN)、ピナゼパム (INN)、プラゼパム (INN)、ピロバレロン (INN)、テマゼパム (INN)、テトラゼパム (INN) 及びトリアゾラム (INN) 並びにこれらの中の塩</u></p> <p><u>2933.99 - - その他のもの</u></p> <p>この項に含まれる複素環式化合物には、次の物品がある。</p> <p>(A)~(F) (省略)</p> <p>(G) ラクタム (省略)</p> <p>これらには、次の物品を含む。</p> <p>(1)~(4) (省略)</p> <p>(5) 1 - ビニル - 2 - ピロリドン : 芳香のある淡黄色の結晶粉末で、<u>ポリ(ビニルピロリドン)</u> (39類に属する。) の製造及び医薬に使用する。</p> <p>(6), (7) (省略) (省略) (次葉へ)</p>	<p>29.33 (前葉より)</p> <p>- ラクタム (省略)</p> <p>(新設)</p> <p>(省略)</p> <p><u>2933.90 - その他のもの</u></p> <p>この項に含まれる複素環式化合物には、次の物品がある。</p> <p>(A)~(F) (省略)</p> <p>(G) ラクタム (省略)</p> <p>これらには、次の物品を含む。</p> <p>(1)~(4) (省略)</p> <p>(5) 1 - ビニル - 2 - ピロリドン : 芳香のある淡黄色の結晶粉末で、<u>ポリビニルピロリドン</u> (39類に属する。) の製造及び医薬に使用する。</p> <p>(6), (7) (省略) (省略) (次葉へ)</p>	

新	旧	備 考
<p>(前葉より)</p> <p>2933.33 号の解説 2933.11、2933.21 及び<u>2933.52</u> フェナゾン (2933.11)、ヒダントイン (2933.21) 及びバルビツル酸 (2933.52) はその複素環構造に特性を有する化合物である。それぞれの号に属するこれらの物品の誘導体もまた、母体化合物の基本構造を有する。このように、母体化合物と比較した場合、これらの誘導体は通常、 (a)~(d) (省略) (省略)</p> <p>2933.79 ラクタムの同じ環にラクタム基の窒素原子の他にヘテロ原子を含むものは、このラクタムの号に分類しない。このような場合には、そのヘテロ原子を考慮して所属が決定される。したがつて、例えば、オキサゼパム (INN) は<u>2933.91</u>号に属し、2933.79号には属しない。 (省略) 2933.79号に分類されるためには、ラクタムは、基のそれぞれの末端で一つ以上の炭素原子によって分離される異なるラクタム基を持たなくてはならない。しかしながら、これらのラクタム基を分けかつ隣接している炭素原子が、オキソ基 ($>C=O$)、イミノ基 ($>C=NH$) 又はチオキソ基 ($>C=S$) である化合物はこの号に含まない。したがつて、例えば、バルビツル酸は、2933.79号には含まれない (2933.52)。</p>	<p>(前葉より)</p> <p>2933.33 号の解説 2933.11、2933.21 及び<u>2933.51</u> フェナゾン (2933.11)、ヒダントイン (2933.21) 及びバルビツル酸 (2933.51) はその複素環構造に特性を有する化合物である。それぞれの号に属するこれらの物品の誘導体もまた、母体化合物の基本構造を有する。このように、母体化合物と比較した場合、これらの誘導体は通常、 (a)~(d) (省略) (省略)</p> <p>2933.79 ラクタムの同じ環にラクタム基の窒素原子の他にヘテロ原子を含むものは、このラクタムの号に分類しない。このような場合には、そのヘテロ原子を考慮して所属が決定される。したがつて、例えば、オキサゼパーム (INN) は<u>2933.90</u>号に属し、2933.79号には属しない。 (省略) 2933.79号に分類されるためには、ラクタムは、基のそれぞれの末端で一つ以上の炭素原子によって分離される異なるラクタム基を持たなくてはならない。しかしながら、これらのラクタム基を分けかつ隣接している炭素原子が、オキソ基 ($>C=O$)、イミノ基 ($>C=NH$) 又はチオキソ基 ($>C=S$) である化合物はこの号に含まない。したがつて、例えば、バルビツル酸は、2933.79号には含まれない (2933.51)。</p>	

新	旧	備 考
<p>2934.34 <u>核酸及びその塩(化学的に単一であるかないかを問わない。)並びにその他の複素環式化合物</u> (省 略) 2934.20 - ベンゾチアゾール環(水素添加してあるかないかを問わないものとし、更に縮合したものを除く。)を有する化合物 2934.30 - フエノチアジン環(水素添加してあるかないかを問わないものとし、更に縮合したものを除く。)を有する化合物 <u>- その他のもの</u> <u>2934.91 - - アミノレクス(INN)、プロチゾラム(INN)、クロチアゼパム(INN)、クロキサゾラム(INN)、デキストロモラミド(INN)、ハロキサゾラム(INN)、ケタゾラム(INN)、メソカルブ(INN)、オキサゾラム(INN)、ペモリン(INN)、フェンジメトラジン(INN)、フェンメトラジン(INN)及びスフェンタニル(INN)並びにこれらの塩</u> <u>2934.99 - - その他のもの</u> (省 略)</p>	<p>2934.34 <u>核酸及びその塩並びにその他の複素環式化合物</u> (省 略) 2934.20 - ベンゾチアゾール環(水素添加してあるかないかを問わないものとし、更に縮合したものを除く。)を有する化合物 2934.30 - フエノチアジン環(水素添加してあるかないかを問わないものとし、更に縮合したものを除く。)を有する化合物 <u>2934.90 - その他のもの</u> (省 略)</p>	

新	旧	備 考
<p>29.36 プロビタミン及びビタミン(天然のもの及びこれと同一の構造を有する合成のもの(天然のものを濃縮したものを含む。)に限る。)並びにこれらの誘導体で主としてビタミンとして使用するもの並びにこれらの相互の混合物(この項の物品については、溶媒に溶かしてあるかないかを問わない。)</p> <p>(省略)</p> <p>(A)~(K) (省略)</p> <p>(L) ビタミンE及びその誘導体で主として ビタミンとして使用するもの</p> <p>ビタミンEは抗不妊性ビタミンで、神経及び筋肉系に重要であり、脂溶性である。</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) 酢酸アルファ-トコフェリル、こはく酸水素アルファ-トコフェリル及び<u>こはく酸アルファ-トコフェリルポリ(オキシエチレン)(こはく酸アルファ-トコフェリルポリエチレングリコールとしても知られている。)</u></p> <p>(3), (4) (省略)</p> <p>(M)~(O) (省略)</p>	<p>29.36 プロビタミン及びビタミン(天然のもの及びこれと同一の構造を有する合成のもの(天然のものを濃縮したものを含む。)に限る。)並びにこれらの誘導体で主としてビタミンとして使用するもの並びにこれらの相互の混合物(この項の物品については、溶媒に溶かしてあるかないかを問わない。)</p> <p>(省略)</p> <p>(A)~(K) (省略)</p> <p>(L) ビタミンE及びその誘導体で主として ビタミンとして使用するもの</p> <p>ビタミンEは抗不妊性ビタミンで、神経及び筋肉系に重要であり、脂溶性である。</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) 酢酸アルファートコフェリル、こはく酸水素アルファートコフェリル及び<u>こはく酸アルファートコフェリルポリエチレングリコール</u></p> <p>(3), (4) (省略)</p> <p>(M)~(O) (省略)</p>	